



授賞式で近藤地方参事官(右)から
表彰状を受け取る大西町長(左)

「ディスカバー農山漁村の宝」缶詰製作所が地方奨励賞受賞

中国四国農政局では、今後の活躍が期待できる地域活性化の事例を「ディスカバー農山漁村の宝」として選定しています。昨年公表された第11回選定において、(株)黒潮町缶詰製作所が地方奨励賞を受賞し、昨年12月17日(火)には大西勝也町長や同局の近藤直樹地方参事官など関係者らが出席し、授賞式が行われました。

同所の友永公生取締役は、「これまで取り組んできたことが評価されたことは非常にありがたい。地域との連携が評価されたのも嬉しい受賞理由だった。Canmeshiシリーズが出始めたばかりのため、さらに広げて地元の農産品を使えるようにしていきたい」と話しました。



大賞作品

第30回潮風のキルト展

昨年11月15日(金)から17日(日)の3日間、「第30回潮風のキルト展」が砂浜美術館(入野松原)で開催されました。

同展では、「布を楽しむ」をテーマに、小キルト、大キルト、クッションの3部門にわかれ、町内外から計118点の作品が集まりました。また、30回目を記念したさまざまな企画展示が行われ、16日(土)には、平成28年から審査員を務めているPatch-Work-Lifeの3名を迎え、お話し会も行われました。

お話し会で、Patch-Work-Lifeの丸井康司代表は、「キルト展は町の良さを見ることができるとイベント。作品を通じて人とつながれる。これからも続けていければ」と話しました。



野菜を売る児童

上川口マルシェ

昨年11月30日(土)、上川口小学校で「上川口マルシェ」が開催されました。

児童が中心となり運営する同イベントは、今年で6回目。「楽しみいっぱい2024」をテーマに、地域を盛り上げ、たくさんの人との交流を深めたいという思いで開催されました。

マルシェでは、同校児童による野菜や果物、自作のグッズなどを販売する出店のほか、一般の出店も行われました。

同校6年生の山本千湖さんは、「開催までにやることがたくさんあったが、みんなで協力して準備できて良かった。接客が楽しかった。他校の友人と一緒に会場を回れて楽しかった」と話しました。



飾り付けをしたツリーの前で記念撮影

くじら保育所園児が土佐入野駅でクリスマスツリー飾り付け

昨年12月13日(金)、くじら保育所の園児21名が、土佐入野駅でクリスマスツリーの飾り付けを行いました。

「たくさんの方が入野駅に来てくれますように」という思いを込めて、自分たちで手作りしたクリスマス飾りをツリーに飾りました。

飾り付けの後は、歌と踊りを披露し、その後列車に乗って中村駅まで行き、サンタさんからプレゼントをもらいました。

園児らは、「すごく楽しかった」、「初めて列車に乗った。お母さんとお父さんにも教えたい」、などと話していました。